

令和  
3年度  
認定企業



## 「扇ルームフレグランスかざ」の開発

～染色チームによる異分野への展開支援～

株式会社大西常商店 × 色染チーム

扇用に薄く加工された竹が持つ保香性を応用し、アロマを吸収するスティック部分に竹を使用することで香りを長く保つことができるアロマディフューザーを開発。



### きっかけはお客様の一言から

#### Q. 開発に至る経緯を教えてください。

お客様から「扇子であおぐといい香りがするのは何で？」という質問をいただいたことがきっかけです。扇子業界に長年携わる我々としては当たり前のことでしたが、お客様の何気ないこの質問から色々調べていくうちに、扇骨の特性から、扇骨につけた香りは1年以上も続くことを知りました。その出来事が「かざ」開発のヒントになっていきました。

また、扇子は季節性のある商品であることから、扇子業界はどうしても「夏場が忙しく冬場が暇」となっていました。そこで、通年使用できる商品をつくることで、職人さんの仕事を増やすことに繋がるのではと考えました。

いざ商品開発となり、香料を入れておく容器も京都らしさにこだわろうと、陶器にしようと考えたのですが、業界が異なり頼める事業者がなく、元々技術のことではいつもお世話になっていた産技研に相談しました。そこで事業者を紹介いただき、導入に当たっての技術トラブルに対しても適切に対応いただくなど、商品開発にあたって大変お世話になりました。

### 商品バリエーションを増やすために 産技研の専門的なノウハウを活用

#### Q. 産技研研究員とはどのようなやり取りをされましたか。

扇骨を活用したルームフレグランスを新商品として販売するに至ったのですが、商品のカラーバリエーションを増やす中で、染めた扇骨をフレグランスの香料につけるとどうしても色が落ちてしまうという問題が発生しました。そこで、ここでも技術のことなら産技研と思い、色染チームへ相談させていただきました。



産技研では染織試験場時代からの染色技術に関するノウハウが蓄積されており、染料の選定をはじめ、染めムラや色落ちが起こらない反応染料を活用した染色方法を開発・技術移転していただきました。特に、自分自身で染色できるように染色処方調製していただき、しかも入手しやすい一般に流通した染料にこだわって染色方法を指導していただいたことは大変助かりました。研究員の皆様のおかげで、黒色と茶色の「かざ」の商品化に成功しました。

### 日々の生活に優しい和の香りを

#### Q. 今後の展開は

従来はBtoBのみの事業展開を行っていましたが、本製品の開発によりインテリア関連事業の販路が拡大しました。和テイストの見た目に美しいフレグランスで、お部屋にもなじむと大変好評いただいております。今後は、より若い世代をターゲットにした新商品開発にも取り組んでいきたいと思っております。

### お店の新たな看板商品として

#### Q. 産技研に対してメッセージはありますか。

大正時代から扇子業を営んで100余年になりますが、扇子以外の商品に着手したことはありませんでした。まったくの門外漢のわたしたちに手を差し伸べてくださった研究員の皆様に心から感謝いたします。皆様のご尽力なしには完成しなかった製品です。看板商品のひとつとして、大切に育ててまいります。

#### 担当チーム から一言

アロマに触れる環境で使用する事を念頭に、大西様と打合せや試験を繰り返し、これまでより耐久性の高い竹材の染色法を開発いたしました。その結果、販路拡大に繋がったことは大変うれしく思います。今後の製品開発の際にもお声がけいただければ幸いです。

### 株式会社大西常商店

所在地 京都市下京区本燈籠町23  
電話 075-351-1156  
URL <https://www.ohnishitune.com/>  
事業内容 京扇子の製造、卸し、小売り



大西常商店  
OHNISHI TSUNE SHOTEN

